

前週の子どもたちの姿から

ひと(自分・友達)とのかかわり

・登園すると友達と誘い合い、場作りを始め、前日の遊びの続きをする姿が見られたり、園庭でドッジボールやサッカー、チーム帽子を被って4色鬼を楽しむ様子が多く見られた。また竹馬や鉄棒に連日挑戦しているメンバーは、日に日に上達し、友達同士で励まし合ったり、コツを伝え合ったりしている。

・気の合う友達との関わりでは、時折言葉がきつくなってしまい、気持ちが悪く感じる姿も見られ、浮かない表情で佇む姿も見られている。それでも、子どもたち同士で解決しあい、遊びを続けていこうとすることが増えてきた。

・2学期のチーム活動をきっかけに、リレーや鬼ごっこなどの外遊びでは、2クラスが混ざり合う姿は多く見られるようになってきたが、お化け屋敷や製作、お店屋さんなどでは、クラスの仲間関係がなかなか広がらない雰囲気がある。教師の援助や場作りの仕方など工夫したい。

ものとの関わり

・「猫むすめになりたい！」と衣装作りを始めた A 児をきっかけに、鬼太郎、一反木綿、ぬりかべ、かっぱなどの妖怪になる人が増え、扮装後、コート室を拠点にお化け屋敷を始めた。また、テレビ番組の影響か、侍の着物や剣やかぶとなどの小道具を作る人もいた。また乗れる馬づくりも楽しんでいる。イメージをもち、友達や教師と、「もっとこうしたら本物みたいになるよ」とアイデアを伝え合いながら作る過程が面白い。

・図鑑や絵本を見ながら、新聞紙とビニールテープで、昆虫や動物、キャラクターをつくったり、トレーシングペーパーで絵を写して描き、オリジナルの図鑑をつくり出す遊びは、メンバーを代えながら色々な人が楽しんでいる。

・砂場でのダイナミックな穴掘り、フルイでひたすら砂をふるっては、さらさらの砂と砂利との仕分け作業、園庭で霧柱と氷を発見！など、自然物と触れあい遊ぶ姿がたくさん見られる。

こととの関わり

・親子体操・・・佐藤弘道さんとスタッフの皆さんをお迎えしての親子体操では、弘道さんの体操を気遣う声が子どもたちからも聞かれたが、お元氣な様子に安心。2度目、3度目ということも、親子で心から楽しむ姿が見られた。安全で心地よい体の動かし方を知り、親子のふれあいの大切さを感じるあたたかい時間になった。

・節分に向けて・・・「今年の豆まきはどうか」と遊戯室に集まり相談。豆の箱は何個用意したら良いのか、各クラスの人数を調べに行く人があり、「太鼓をたたこう！」「しんじょうがいのもいんじやない？」とアイデアも出てきて、興味のある人からアトリエで鬼づくりや、豆箱づくりを始めた。金曜日には、遊戯室に集まり、みんなで「泣いた赤鬼」のスライドを鑑賞。「赤鬼も、青鬼も悪い鬼ではなかったね」と子どもたち。今年の子どもたち扮する鬼はどんな感じになるのか楽しみだ。

・好きなところでお弁当・・・このところ、お弁当は好きな場所で食べることにしているが、一人で落ち着いて食べようとする人、誘い合わせておやまや、コート室遊戯室など場を選んで食べる人などさまざま。準備や片付け、食べることに時間も要した人たちが、すっきり気持ちよく食べるようになり、その後の遊びだしもスムーズになってきている。

*週のねらい

○友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進める

○いろいろなことに興味をもち、挑戦しようとする

環境の構成・教師のかかわり

○友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進められるように

- ・一人ひとりがやりたいことを表現する姿を受けとめ、実現するように支えることで、個々の充実が友達と関わる原動力に繋がるようにする。
- ・互いの思いや考え、イメージなどを伝え合い、認め合えるような雰囲気や関係性が生まれるように援助する。
- ・遊びを通して、年少・年中児と出会い、楽しませたり、喜ばせたりすることが、子どもたちの自信となっていくよう支える。
- ・冬の季節感を五感を通して味わえるよう、子どもたちの発見を共感的に受けとめ、教師もともに楽しむ(霧柱や氷探し、花壇の水やりなど)。
- ・手洗いや身支度、もの管理、遊具の扱いなど、一人ひとりの様子を再確認し、見通しをもった丁寧な生活が送れるよう配慮する。
- ・クラスや学年の仲間と過ごす楽しさや心地よさを味わえるよう、ゲームや歌、感じたこと考えていること等を語り合うなど、降園前の集まりの持ち方を工夫する。

節分・豆まき ・節分は、邪気(災害や病気など)を払い、無病息災でいられるよう豆まきをする、ということや、鬼役や、お糺子、豆箱配りなど、子どもたちが考え、用意した今年の豆まきを充分に楽しめるように援助する。また、年少児、年中児が安心して豆まきを楽しめるよう、他学年の教師と連携して支える。

遊戯室 ・大型積み木やキングブロックを使って、友達と力を合わせて構成することを楽しみながら、つながりを深めていけるよう支える。
・年中児と関わり合いながら、遊戯室で楽しく遊ぶ中で、空間の使い方や片付けなど、一緒に取り組んでいくことができるよう援助する。

アトリエ ・ドミ/たおしやお化け屋敷など、子どもたちの遊びの様子を見て、アトリエを活用できるようにする。
・2学期末の影絵鑑賞の体験や写し絵を楽しんでいる子どもたちの遊びの広がりなどを考慮し、影絵遊びにつながっていくことも視野にいれ、OHP、OHPシート、スクリーンなどを用意しておく。

子どもたち ・子どもたちの遊びの様子を見ながら、この場所でも使えるようにしておく。ここで遊びたい人が心地よく遊べるように場を整えたり、時間を見て、片付けを始めたりなど、子どもたちが自分たちでこの場所を管理しながら遊びを進めていくことが出来るように促す。

○いろいろなことに興味を示し、挑戦しようとする気持ちがもてるように。

- ・じっくり遊び込み、達成感や充実感を味わうことができるように支え、一人ひとりの自信につながっていくようにする。
- ・やってみよう動き出した子ども同士が、根気よく続けたり、刺激を受け合ったりできるような雰囲気づくりを工夫し、教師もともに取り組みながら支えていく。
- ・やってみよう気持ちをなかなか表せない子どもには、機会を捉えて声をかけたり、一歩踏み出せるよう後押ししたりする。

竹馬・縄跳び・鉄棒・マラソンなど ・安全に、じっくり取り組める環境を整え、子どもたち同士が、コツを伝え合ったり、励まし合ったりしながら、「やってみよう」と心を動かして挑戦することができるよう支える。出来るようになった楽しさや、やりきった充実感に共感し、自信につながっていくよう教師もともに楽しんで関わる。

サッカー・リレー・ドッジボール・4色鬼など ・いろいろな友達と身体を動かして遊ぶ中で、関わりがより豊かになっていくよう、教師もともに動き、子ども達のやりたい気持ちや遊びが続くよう援助する。ルールのある面白さを知る一方で、既成のルールにとらわれず、自分達の遊びがより楽しくなるよう、ルールを創り出していき楽しさや味わえるよう援助する。

2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)
9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める *豆まき準備 遊戯室にて	9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	<公開保育研究会> 9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める
園庭/リレー・ドッジボール・サッカー・4色おに・縄跳び・鉄棒・竹馬・砂場 など 保育室・廊下・アトリエ/製作・ごっこ遊び・コマ回し・お店屋さん・電車・OHPを使った影絵 など 遊戯室・コート室/大型積み木・キングブロック・フラフープ・ショー・劇 など				
11:00 片付け トイレ、手洗い	11:00 片付け (年中組の片付け手伝う) *豆箱屋さん(年中組に) トイレ、手洗い 弁当準備	10:40 片付け、トイレ 手洗い、水分補給	11:00 片付け トイレ、手洗い	10:40 片付け、トイレ 手洗い、水分補給
11:30 弁当(遊戯室) *豆まきの相談 鬼や豆箱を遊戯室に運ぶ 片付け・食休み 遊びや生活を進める	11:30 弁当(遊戯室) 片付け・食休み 遊びや生活を進める 12:45 片付け *豆箱屋さん(年少組に) *豆まき(年少・年中・一年生) トイレ・手洗い・水分補給	11:10 集まり 身支度 11:30 降園	11:30 弁当 片付け・食休み 遊びや生活を進める	11:10 集まり 身支度(外靴持ち帰り) 11:30 降園
12:30 片付け、トイレ 手洗い、水分補給	12:30 片付け、トイレ 手洗い、水分補給		12:45 片付け、トイレ 手洗い、水分補給	
13:10 集まり 身支度	13:10 集まり 身支度		13:10 集まり 身支度	
13:30 降園	13:30 降園		13:30 降園	

絵本・紙芝居：季節に関する話(冬、氷など)、長めのお話 など
歌：「カレンダーマーチ」「ともだちになるために」「勇気100%」 など
ゲーム：ジャンケン列車、猛獣狩りに行こう、ハンカチ落とし、ジェスチャーゲーム など